

HEY 規 格 GUYS!



CN（カーボンニュートラル）ってよく聞くけど、具体的にどんなことなの？
ジオスターで具体的にどんな取り組みをしているの？
今回は話題のカーボンニュートラルについて簡単にまとめています。

みんなで知ろう！カーボンニュートラル

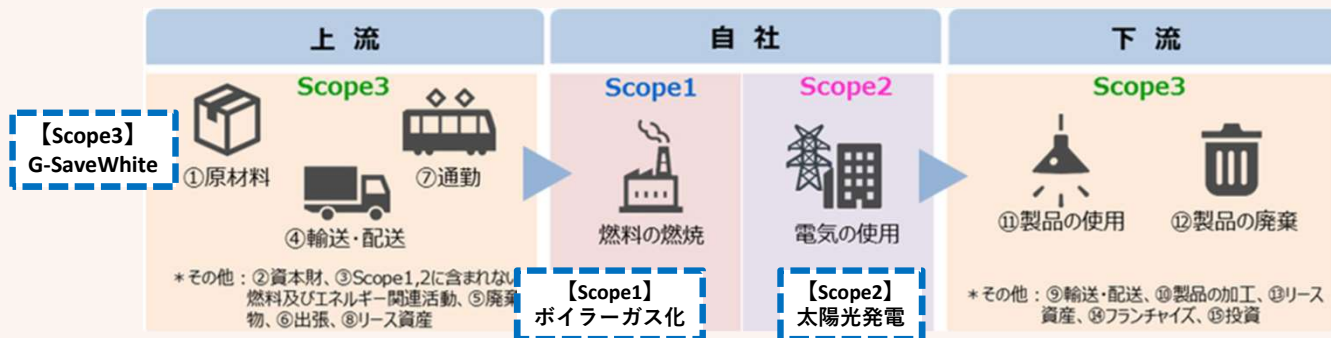
そもそもカーボンニュートラルとは？

カーボンニュートラル（脱炭素）は実質的な排出量をゼロにすることを指します。二酸化炭素を含む温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を「実質ゼロ」にすることを目指す考え方です。

再生可能エネルギー（太陽光発電）を利用したり、植林や森林保全をおこない、差し引いて合計を実質的にプラスマイナスゼロにする状態のことで、2050年までにこの状態を目指すことを日本が世界に宣言しました。※各国のCN目標は一概に2050年ではありません。CNは国・世界レベルでの取り組みということなんです。

スコープ123！

企業活動における、温室効果ガス排出の範囲をスコープ3つにわけており、ジオスターが掲げている目標はスコープ1、2です。具体的な活動は以下の通りです。



CN担当者に 聞いてみた！

ジオスターのCN活動業務を担当しているお2人にお話を伺いました。（取材当初）

Q 今、CN活動として具体的にどのようなことをしていますか？

半期に1回CN推進委員会を開催し、第6回を2/18に開催いたしました。設計・開発本部長が委員長を務め、ほか、委員長と同部執行役員が副委員長、わたしたち2人が事務局を行っており、CN施策や動向などについて議論・報告をしています。

Q 工場だけではなく、本社・支店でもできることはありますか？

節電・省エネ！！夏はエアコンをガンガン下げたり、寒いからといって温度をあげたりしないこと、みんなが少しずつ、何かしら工夫をして、意識をしていくことが大事だと思います。（体調優先をお願いします！）

Q CNの業務を通して大変だなとおもったことなどありますか？

Kさん：2020年の菅総理によるカーボンニュートラル宣言当時は、企業側のCO2排出量は自己申告で済んでいました。しかし昨今では脱炭素の取り組みを「見える化」することが求められる傾向にあります。CO2排出量の透明性・信頼性を確保するため、第三者機関の認証を受けたデータが必要となってきています。今後はその証明に向けて、使用量に分かる資料などの原本管理が重要になります。社内システムであるバクラク等を活用しながら、この体制を整えていきたいと考えています。つきましては、社員の皆様のご協力をお願いするため、まず透明性・信頼性確保の要件を整理し、各拠点の皆様とも協議させていただきたいと考えております。



Kさん(2016年入社)
趣味：サッカー



Nさん(2024年入社)
趣味：読書
好きな食べ物：桜餅

また、昨年春には国交省が脱炭素アクションプランを公表し、直轄土木工事において、環境配慮型コンクリートを2027年度から順次原則化していく方針を示しています。こうした動向を踏まえると、今後は顧客側からも環境配慮型コンクリートが求められることが想定されます。

ただし、環境配慮型コンクリートの販売は Scope3 の削減には寄与しますが、当社が公表している Scope1・2 の削減には直接つながりません。（国全体のCO2削減には貢献）

Nさん：長期目標であるため、削減策を具体化するのが難しいところですが、今開発している技術が“実現したら”というようにいくつも仮定をおきながら、どうしたらCNを達成できるか検討を重ねています。CN推進委員会で社長も、「**経営方針の1つであり、スピード感を持って進めたい**」とおっしゃっているので、しっかりと推進をしていきたいです。